

会社案内

Corporate Information



「今」が「未来」をつくる

社員ひとりひとりが迅速・確実に今を行動し、
未来へつながる安全・安心な道路空間の確保を目指した
サービスの提供に努めています。

経営理念

わたしたちは、信頼に応える独自の技術サービスをもって、
道路をより安全・快適に設計・保全管理し、
その社会的価値を高めていくことに貢献します。

高速道路を24時間365日守ります。

人々の暮らしに不可欠な高速道路を安全・安心に走行できるよう、
高速道路のプロフェッショナルとして、これからも守り、支え続けます。

01 土木部門 P.5

02 施設部門 P.6

03 営業部門 P.7

04 開発部門 P.7

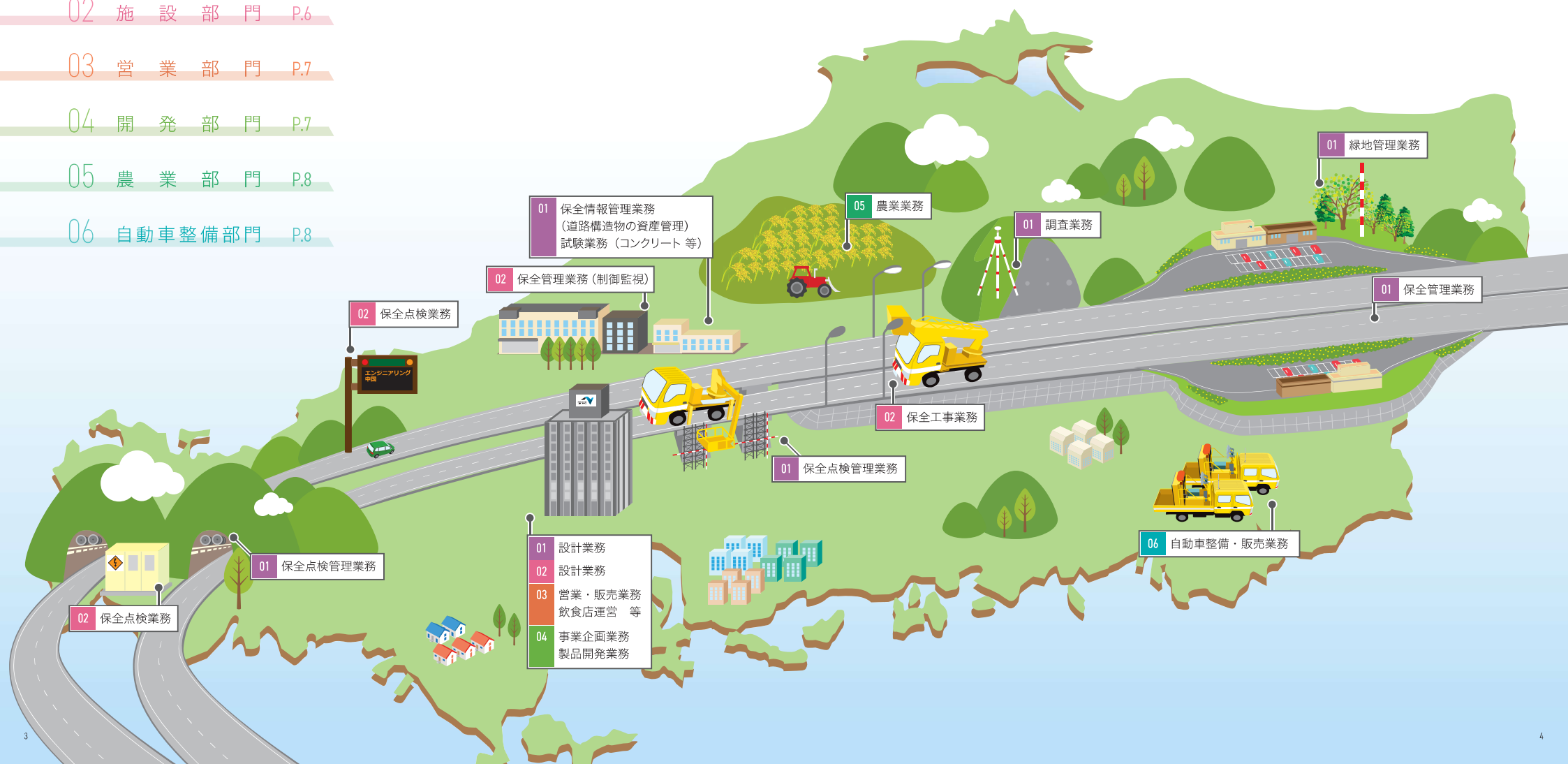
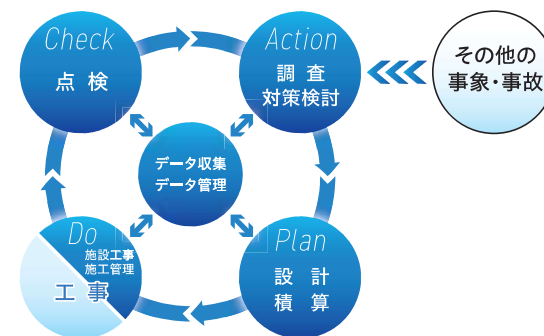
05 農業部門 P.8

06 自動車整備部門 P.8

当社として目指すべきこと

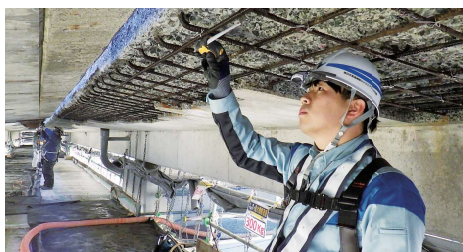
本業（高速道路の点検・管理）で、
お客さまに「安全・安心」を提供し、
国民から「信頼」される企業を
目指します。

点検～補修のサイクル



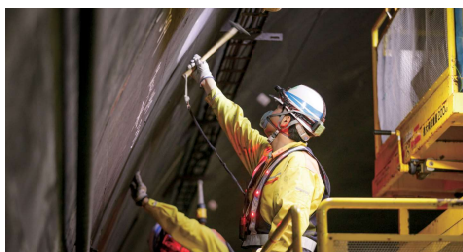
お客さまに対しての安全・安心な道路空間を長期にわたり提供することを目的に、橋梁・トンネル等の構造物について所定の頻度による点検を実施しています。また、その点検の結果をふまえて、構造物の評価・診断を実施することにより、早期の対策や適切な補修計画の策定を実施し、安全・安心な道路空間を確保・提供しております。

土木部門では、橋梁・トンネル等の構造物点検を始めとする以下の業務を行っています。



保安全管理業務

点検から補修に向けた修繕計画策定や高速道路の「のり面・橋梁・トンネル・舗装等」道路構造物の維持管理に必要な工事の積算・品質・施工・工程・安全管理等を行う監督支援を行っています。



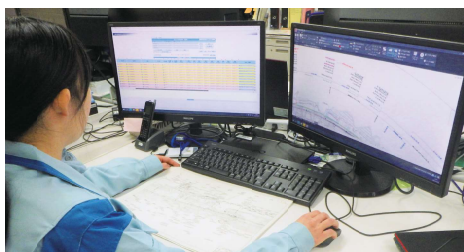
保全点検管理業務

のり面・橋梁・トンネル及びその他附属物等の道路構造物を常に安全な状態で機能保持することを目的として、構造物の劣化、損傷状況を点検し、健全度判定を行うとともに補修時期、補修方法の検討立案を行っています。



試験業務

コンクリート構造物の補修設計にあたり、圧縮強度・静弾性係数・中性化・塩化物含有量等の必要な情報を得るための試験を行っています。当社は、JNLA登録試験所としてコンクリート圧縮強度試験、塩化物イオン試験について認証されています。



保全情報管理業務

補修工事等で行われた工事の記録データを基に、道路構造物の履歴を管理し、資産データの精査・更新管理を行っています。また土木系の各種業務システムに関する運用管理も行っています。



緑地管理業務

のり面・本線路傍・中央分離帯・休憩施設等の緑地に常に安全な状態で機能保持することを目的として、生育状況の確認や、第三者被害を未然防止するための倒木リスク点検を行っています。



調査・設計業務

道路設計、構造物設計、補修・補強設計、環境調査、コンクリート構造物の劣化度調査、交通・事故統計、道路管理に必要なシステム構築及びデータ設備、のり面動態観測等道路に関する様々な調査・設計業務を行っています。

高速道路には、安全で快適な走行を支援するために、照明設備をはじめとして、道路情報を提供する情報板設備、トンネル内車両火災に対処する非常用設備、各設備に電力を供給する受配電設備など、様々な設備があります。

私たちは、点検から補修までのPDCAサイクルをこれら設備に展開し、高速道路の社会的価値向上に貢献します。

施設部門では、機械・電気通信設備を対象に以下の業務を行っています。



保安全管理業務(保全・情報・品質・制御・車両)

保安全管理業務は、点検記録等の各種データを管理し、それらの統計解析により点検や補修等の保全計画を立案します。情報管理業務は、設備の資産面のデータを管理します。また、道路施設管理システムの運用を管理します。品質管理業務は、設備更新工事等の品質を確保するために、工事等の施工を管理します。制御管理業務は、設備の運転状況を24時間集中監視し、故障等の異常発生時には初期対応を行います。車両管理業務は、管理用車両や交通規制機材等を管理します。



保全点検業務

機能点検は、設備が正常に動作し十分な性能を満足しているかを測定機等により確認します。構造物点検は、交通の安全を確保し、第三者被害等を防止するために、設備の構造物面の健全性を評価します。これらの点検は、設備の状況を把握するだけでなく、設備を保全する上で重要な基礎データとなります。



保全工事業務

維持清掃作業は、設備の性能を維持し、劣化の進行を抑えるため、道路照明・トンネル照明などの汚れ・ほこり等を清掃する作業です。取替工事は、年数が経過し、正常に動作しなくなった速度規制標識・トンネル内誘導標識等を取替える工事です。事故復旧工事は、交通事故等により損傷した設備を、早急に復旧させる工事で、仮復旧工事と本復旧工事があります。



施設設計業務

管理・点検業務の結果に基づく更新設計や技術の進歩による機器の更新設計(照明設備のLED化等)を行っています。各設備工事の完成図保存システムの管理や電気通信・給排水などの埋設物図面の修正・更新などの維持管理に必要な基礎データの管理を行っています。



営業業務

高速道路事業を主体とし、国、地方公共団体等への道路事業のコンサルタント業務全般において、技術提案等により業務の受注、契約に向けた営業活動を行っています。また、会社財産の一つである知的財産権について、権利申請及びその登録に向けた業務を行っています。



販売事業業務

開発された製品は主に高規格道路での安全性を確保するものであり、NEXCO東・中・西日本高速道路会社及び首都高速道路会社・阪神高速道路会社・本州四国連絡高速道路会社・県道路公社に営業販売を行っています。また本社ビル内に飲食店「まほら」の営業も行っており、社員及び一般の方々に昼夜おもてなしをしています。

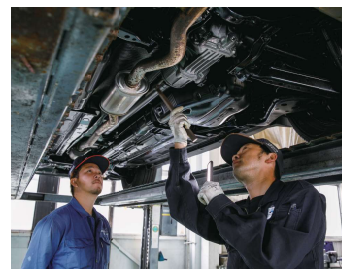


自動車整備事業業務

社内保有車両の購入及び更新、自動車保険への加入業務や3整備工場（広島・山口・岡山）の運営管理として、各工場内の安全対策や適切な整備を実施しているかなどを指導しています。



広島県山県郡北広島町にて、「地域の発展と社会に貢献する企業の実現」を目的に、平成22年より農業事業に参入しています。北広島町は、中国山地の山々に囲まれた積雪寒冷地帯で、「清らかな水」と「寒暖差の大きな気候」が米栽培に適しており、北広島町内の地主の方より借用させていただいた農地（約40ha）を活用し、おいしいお米を栽培しています。また、水稲以外にも付加価値の高いいちごの試験栽培を実施中であり、地域と連携し、地域から愛される持続可能な農業事業を展開しています。

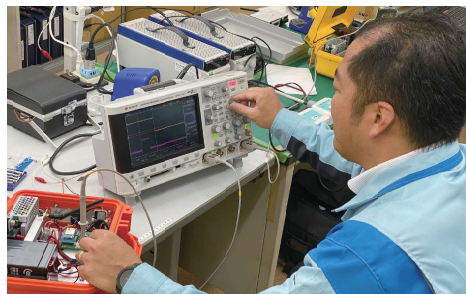


広島・山口・岡山の直営3整備工場を拠点として、主にNEXCO西日本の道路維持作業車の管理・点検・整備をグループ会社と連携しながら行っています。また、一般の方の車輛販売、任意保険業務なども取り扱っています。



事業企画・開発業務

新規事業の企画・計画・検討を行い、事業として成立させるためのビジネスモデルの構築を行っています。新規事業は、高速道路事業に関連したものに限らず、他分野の事業についても幅広く検討を行っています。これまでに、経年劣化により老朽化の進行が著しいガードレールや凍結防止剤の散布等により防錆機能が低下したガードレールの予防保全・延命化を図るため、専用の工事車両（VBS車両）を開発し、「ガードレール再塗装工」等の事業化を実現しました。現在は耐震補強工事におけるコンクリートプラストへの応用を検討しています。



製品開発業務

「道路付属物の老朽化対策」「利用者への安全かつ安心な高速道路空間の提供」「安全かつ効率的な保全点検作業の実現」をコンセプトとし、最新のDX技術を利用した開発を進めています。開発に際しては、専門スタッフの参加によるワーキング会議を実施し、多岐に亘る検討を行ったうえで、現場のニーズを製品設計に反映させています。また、製品化の最終段階では、実際の高速道路フィールドにおいて製品試験（屋外暴露試験、性能試験等）を行い、製品の妥当性を検証・確認したうえで、高速道路事業にて活用しています。

海 / 外 / 事 / 業

～未来に向けて 海外事業にチャレンジ～

海外の道路事情においても、維持管理が重要視されており、道路事業のLCC（ライフサイクルコスト）を最小にすることが、世界的に求められています。わが社においては、高速道路の維持管理業務を主としていますが、これまでに培った技術を海外で役立てるため、積極的に技術交流・支援を行っています。



タイ高速道路公社（EXAT）との技術交流



アフリカ モザンビークでの技術支援

CSR活動



CSR活動への取り組み

日頃より、ご理解とご協力を頂いている地域の皆様に、何か出来ることはないかとの想いから月に1度、本社ビル周辺の清掃作業を行なっています。また、社員の献血活動への積極的な参加とともに本社社屋を定期的な献血会場として提供しています。その他にも土木技術者を目指す学生に向けた講義・現場視察や各自治体への技術的な情報の提供及び職員の技術力の向上に寄与しています。

宿舎(独身寮)の設置(借上げ制度あり)



各事業所の周辺には全室個室の宿舎を設置しています。日常生活の充実が、良い仕事に結びつくものと考えています。

同好会活動



野球、バドミントン、ハイキング、ゴルフ、ボウリング、カラオケ、釣りなど

社内には多種多様な同好会があります。職場は違っても、気の合う社員同士で、スポーツや、趣味を通して仲間になれる環境があります。ひとのつながりを大切にしています。

女性活躍促進



女性活躍促進への取り組み

女性の就業継続とキャリアアップの支援に取り組んでいます。定期的にコミュニケーションの場を設け、問題の抽出や改善を実施するとともに、研修や講習会への積極的な参加を通じて、スキルアップの促進に努めています。今後も女性社員が快適に、高いモチベーションを持って仕事ができる職場作りを進めてまいります。

資格取得支援制度

国家資格等の取得支援として、受験に際しての補助金や、合格祝金を支給する制度を設け社員個人のスキルアップを応援します。また、取得後は、資格手当の支給制度もあります。

学会論文発表

学会などへの論文投稿や論文発表については、技術系社員としての実践力・技術力・プレゼン能力の向上に資するものであり、会社として積極的な取り組みを奨励しています。

業務研究発表会



業務の改善提案や技術的問題などについての研究論文を募集し、年1回発表会を行います。また、日常の業務で困っていることや、「こんな製品があれば便利だな」と思うようなアイデアを、役職に関係なく自由に提案できる場として、「業務開発委員会」を定期的に開催。本委員会で採用されたテーマは、専門の部署で製品化・事業化の検討を行ったうえで、実際に製品化されています。

ISO9001認証登録

平成11年7月22日認証取得

登録部門:

- ・道路保全管理業務
- ・交通安全関連製品の設計・開発及び製造
- ・農業事業
- ・自動車整備事業
- ・コンクリート試験業務



ISO/IEC 17025 JNLA登録試験所

登録年月日 平成27年9月14日








当社土木試験課は、産業標準化法試験事業者登録制度(JNLA)に基づく登録試験事業者で、コンクリートの圧縮強度試験方法他1件の登録を受けています。試験結果には、右に示す標章がついた試験証明書を発行することができます。

150373JPは、当社土木試験課の登録番号です。



NEXCOエンジニアリング中国の各拠点配置図

凡例

-  本社及び支店
-  出先機関
-  営業所
-  インターチェンジ
-  高速自動車国道
-  一般有料道路
-  新直轄区間
-  自動車専用道路



西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社

〒733-0037 広島市西区西観音町2-1 第3セントラルビル
Tel 082-532-1430 Fax 082-532-8051

【企画部】採用に関するお問い合わせ
E-mail: kikaku@w-e-chugoku.co.jp

【販売事業部】製品に関するお問い合わせ
E-mail: hanbai@w-e-chugoku.co.jp



<http://www.w-e-chugoku.co.jp/>